

AI・IoT時代のモノづくりをリードする人をつくる

データサイエンティスト

育成プログラム 2020年スタート

理論に基づくデータサイエンスの確かな技術と、学内外での多様な経験で身につける課題解決力。「データサイエンティスト育成プログラム」は、未来を切り拓くエンジニアを育てるシステム理工学部の新プログラムです。

AI



IoT



ビッグデータ活用のしくみを モノづくりにつなげる専門家を育成

システム理工学部がめざすデータサイエンス教育は、より快適な生活のためのモノづくりを目標に、ビッグデータ活用のしくみに精通し、有用なデータを的確に扱う力を養うものです。データサイエンティストの育成に向け、ものづくり関連科目に連動する多彩なコンピュータ科学系科目に加え、自ら問題発見解決にあたるPBL科目、企業でのインターンシップなどを通じ、体系的に学びを深められる新たな教育環境を構築しました。

データサイエンティスト 育成プログラム

- 対象学科 電気電子情報工学科
※他学科にも順次拡大予定
- 募集人数 20名(予定)



関西大学

システム理工学部

1 横断的に学び、実践力を養うカリキュラム

プログラミングや機械学習の知識を横断的に学ぶとともに、プロジェクト学習とインターンシップによって社会と産業界が求める実践力を高めます。

1年次

プログラミング

コンピュータ科学への導入として、数学的な基礎とプログラミング技術を中心に学びます。



2・3年次

PBL

身に付けた知識をもとに、プロジェクトチームによる開発を体験。課題解決型の学習で応用力を高めます。



4年次

インターンシップ

企業との連携に基づき、AI・IoT技術開発インターンシップを実施。開発現場で求められる実践力を磨きます。



多彩な学びを提供する4つの科目群

データサイエンティストに必要なコンピュータ科学の基礎と実装のためのプログラミング技術を学びます。

確率・統計や情報数学を中心に、データを取り扱うための数学的な基礎を学びます。

データサイエンス 基礎科目群

科目例 プログラミング実習、
パターン認識 など

数学科目群

科目例 情報理論、
応用確率統計 など

データサイエンス 応用科目群

科目例 画像情報処理、
情報セキュリティ など

データサイエンス 実践科目群

科目例 AI・IoT技術に触れるPBL、BigData
活用技術開発インターンシップ

AIとIoTをエンジニアリング(モノづくり)に活用するための応用技術について学びます。

プロジェクトチームによる開発体験や、企業での開発インターンシップなどを通じて実践的なAI・IoT技術を習得します。



2 企業現場でのAI・IoT技術開発インターンシップ

4年次には、本学部と企業との連携により、AI・IoT技術開発インターンシップを実施。企業担当者の指導のもとで開発スタッフの一員として課題に取り組み、応用力・実践力を磨きます。

Panasonicでのインターンシップに参加

理工学研究科 システム理工学専攻 電気電子情報工学分野 博士課程前期課程1年次生 **長澤 由利奈**さん

2019年2月、約2週間に渡って技術本部でのインターンシップを体験しました。担当の方から与えられた課題が日頃の研究内容に近く、大学での学びと将来のつながりをイメージできたことがうれしかったです。海外のグループ企業とのテレビ討論会にも参加し、現場で仕事を進める上での情報共有、コミュニケーションの大切さも実感。短い期間でしたが、「もっと勉強を続け、学びを先に進めたい」というモチベーションが高まりました。

